

岩原城と戦国時代の堀金



平成 29 年 12 月

岩原自然と文化を守り育てる会

旧安楽寺古池から岩原城に連なるウォーキングトレイル（遊歩道）へのご案内

この度、「岩原自然と文化を守り育てる会」が計画立案させていただきました遊歩道が完成しました。

当事業へのご理解とご協力をいただきました岩原区民皆様をはじめ多くの皆様方に感謝いたします。

この事業は岩原区内の歴史や文化史跡、景観、動植物、生業など多くの有形・無形の潜在的な「地域資産」に着目し、それら地域資産に秘められている魅力を区民・市民が共有し、育み、末永く愛することで心豊かな地域づくりを目指し進めてきたものです。

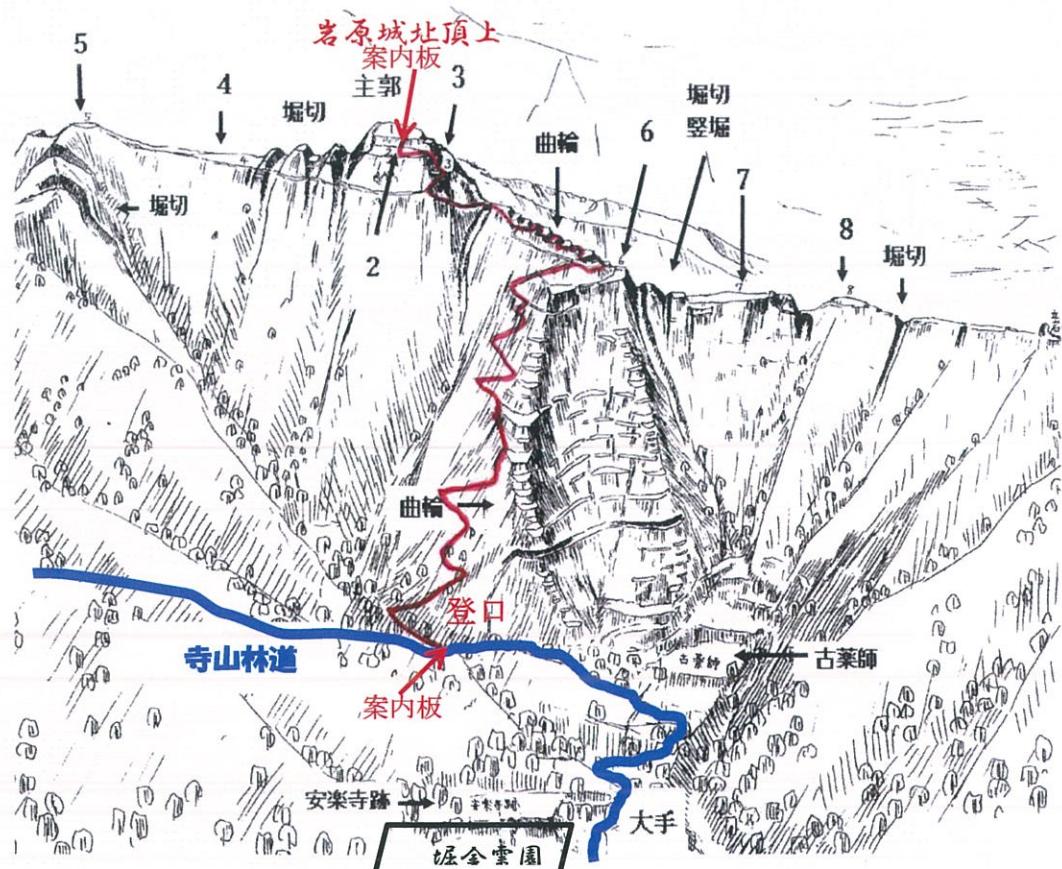
遊歩道については平成29年4月中旬より当会々員を中心に、現地踏査を重ね、幅広い世代が極力登り易いルートとなるよう地図上の等高線や、現存する獣道等を幾度となく確認し、地形を生かしたルート整備に努めてきました。

岩原城址周辺一帯は安曇野市の「埋蔵文化包蔵地」に登録されていることもあって、構造物設置による段差解消や地肌の掘削といった整備方法等に制約があったこと、また、費用的な課題もある中、樹株、落石等の除去といった補助的な整備にとどめたことから遊歩道としては登りにくい箇所も多々ありますが、区民の皆様をはじめより多くの方々がこの「ウォーキングトレイル（遊歩道）」を利用していただくことで健康増進へつながり、かつ、北アルプス西山山麓から見た「安曇野眺望」へと復活することを願って利活用へのご案内とさせていただきます。

平成29年12月吉日

岩原自然と文化を守り育てる会

代表 百瀬 新治



岩原城と戦国時代の堀金

安曇野の西山山麓堀金の地は、古く数千年前の縄文時代から人が住み始め、以後耕地を開拓していくつかの集落が営まれて戦国時代に岩原城が築かれました。登り口までの途中には、残った石垣で安楽寺・大同寺などの寺跡が見受けられ、周辺一帯のお寺などを防御施設として築き、全体で岩原城が守られていたものと思われます。

全国各地で領地をめぐり勢力争いがおこる戦国時代にあって、十六世紀中頃までに北安曇に勢力を張っていた仁科氏の一族がここ堀金の地に進出し、以後三代にわたり堀金氏を名乗りこの地を支配しました。

ここから東の堀金上堀に館を構え普段はそこで生活し、いざ戦いとなる場面では、西山尾根上に岩原城を中心とした防御の陣を敷いていました。

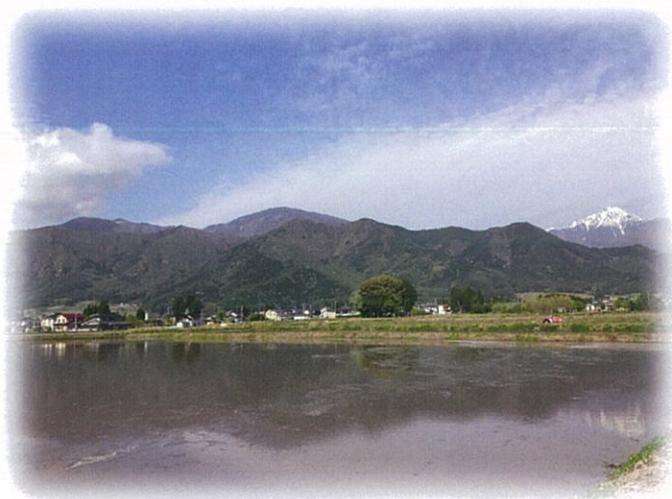
武田信玄の信濃侵攻に際していち早く従属した堀金氏は、武田氏の家臣として川中島の合戦などに出兵活躍し、一時は北安曇までその勢力を伸ばした時期もありました。

おそらくは、武田氏の安曇郡支配の拠点として、この岩原城は現在も残っているように堅固で充実した山城となつたのでしょう。1573年の信玄の死と織田氏による武田家滅亡の動きは、堀金氏にとっては大きな影響を及ぼし、急激に力を失い没落の道をたどります。ついに天正九（1581）年に至り、堀金氏第三代の平太夫盛広は越中の寺を頼りに落ち延びていったと記録が残されています。

現在は城址が残るだけとなっていますが、仁科氏の一族として進出し、武田に加わっては有力な武将として力を示した堀金氏三代と今に残された岩原城をウォーキングトレイル（遊歩道）を通じてお楽しみください。



岩原城址頂上からの眺望



事業名 旧安楽寺古池から岩原城に連なる遊歩道整備事業

事業主体 「岩原自然と文化を守り育てる会」

※この事業は平成29年度長野県地域発元気づくり支援金を活用しました。